

平成 29 年度地球環境基金助成金内 定 団 体 の 決 定 に つ い て

(環境省記者クラブ、全国地方新聞協会同時配布)

平成 29 年 3 月 31 日 (金)

独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金部

部長 山口 富夫

地球環境基金課長 本城 宏行

担当 池田、小川

連絡先 044-520-9505 FAX:044-520-2192

地球環境基金は 225 件、総額 6.5 億円の環境保全活動を支援します

- 独立行政法人環境再生保全機構(神奈川県川崎市/理事長 福井光彦)地球環境基金では、日本国内外の民間団体(NGO・NPO)が開発途上地域または日本国内で実施する環境保全活動に対し、助成金の交付を行っています。
- 平成 29 年度助成金の募集は、継続団体は平成 28 年 11 月 16 日から平成 28 年 12 月 14 日、新規団体は平成 28 年 12 月 15 日から平成 29 年 1 月 16 日にかけて行い、414 件、総額約 15 億 2,502 万円の交付要望が寄せられました。これに対し、活動の必要性、効果、確実性等を考慮し、地球環境基金運営委員会及び地球環境基金助成専門委員会において厳正な審議を行った結果、【別添一覧】のとおり、225 件、総額 6 億 5,070 万円の内定を決定いたしました。
- 今年度は、「つづける助成」として、地域に根ざすことを目指した環境保全活動の継続・定着を支援することを目的にした助成メニューを新たに設け、26件、総額4,610万円の内定を決定いたしました。また復興支援助成については熊本地震の被災地域も対象としました。
- 助成メニュー名を昨年度より変更し、「入門助成」を「はじめる助成」、「一般助成」を「ひろげる助成」、「つり環境ビジョン助成」を「LOVE BLUE助成」としました。

平成 29 年度地球環境基金助成金 内定の特徴

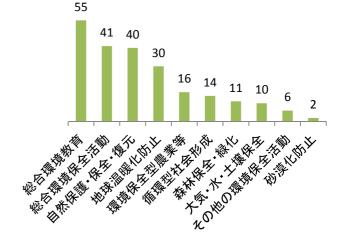
● 内定件数 内定金額

国内だけでなく、開発途上地域での活動も支援

< 活動地域別 内定内訳 >

海外活動 48件 1億6,440万円 国内活動 177件 4億8,630万円

参考: 平成 28 年度活動地域別内訳 海外活動 43 件 1 億 5,060 万円 国内活動 180 件 5 億 925 万円



・内定 225 件の分野別内訳

地球環境基金助成金の紹介と、本年度内定団体の特色

活動の目的や助成対象期間に応じ、全部で8種類の助成メニューがあります。 地域性の高い活動から、開発途上地域における環境保全活動まで、幅広い支援を行っています。

各助成メニューの特徴と名称		要望件数	内定件数・金額	
1	地域活動の種を育て、地域に根付いた活動を中心に、地域からの環境保全のボトムアップの充実を目指す支援制度	はじめる助成	64 件	20 件 3,340 万円
2	地域にねざすことなどを目指してはじめた活動が、継続し、持続的な活動へと定着することを支援する制度	つづける助成	68 件	26 件 4,610 万円
3	課題解決能力に磨きをかけ、より効果的 な活動の展開を実現し、団体組織のステ ップアップを目指すための支援制度	ひろげる助成	233 件	151 件 47,640 万円
4	日本の環境 NGO・NPO が中心となり、 市民社会に新たなモデルや制度をつくる ための支援制度	フロントランナー助成	11 件	4件 2,990 万円
5	日本の環境 NGO・NPO が横断的に協 働・連携し、特定の環境課題解決を目指 す支援制度	プラットフォーム助成	8件	3件 1,620万円
6	東日本大震災及び熊本地震の被災地域に おける環境保全を通じた復興に資する活 動への支援制度	復興支援助成	14件	11 件 3,100 万円
7	東京 2020 大会に向けた環境保全活動に 対する支援制度	特別助成	3件	2件 870 万 円
8	一般社団法人日本釣用品工業会からの寄付による助成。 清掃活動など、水辺の環境保全活動に対する支援制度	LOVE BLUE 助成	13件	8件 900万円
		合計	414件	225 件 6 億 5,070 万円

<u>企業協働プロジェクトの紹介</u>

企業等の寄付を直接民間団体の助成に充てる「地球環境基金企業協働プロジェクト」として、一般 社団法人日本釣用品工業会からの寄付による「LOVE BLUE 助成」を実施します。 平成 29 年度は、8 件、計 900 万円を内定しました。





重点配慮事項

採択にあたっては、①地球温暖化防止に資する活動、②生物多様性の保全に資する活動、 ③循環型社会形成に資する活動、④有害物質による被害防止のための取組、⑤東日本大震 災及び熊本地震に関連する環境保全活動を重点配慮事項とし、パートナーシップに基づく 環境保全活動、環境・経済・社会の持続可能性を目指した活動、東京 2020 大会に向けた 環境保全活動、国際的視点を持つ活動を重点的に支援することといたしました。

【お問い合わせ】〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町 1310 ミューザ川崎セントラルタワー8 階 独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金部地球環境基金課

TEL: 044-520-9505/FAX: 044-520-2192